

令和4年度 外国人指導研究部 主任者会

令和4年4月12日(火)

於：浜松市立佐鳴台小学校 体育館

研究主題

子どもを見つめ、多文化共生社会で一人一人の学ぶ力を高める指導  
～日本人児童生徒との温かな関わりを基盤にした在籍学級での学びを目指して～

1 顧問校長挨拶 (芳川北小学校 櫻井 敬子 校長)



2 部長挨拶 (大平台小学校 新村 朋子 教諭)



### 3 発表

「外国人担当としての仕事について」

発表者:佐鳴台小学校 永田 直美 教諭



- 大切なことの1つ目は、受け入れる側(教師・日本人児童生徒)の意識を変えること、日本人児童生徒との温かな関わりを築きながら支援していくことです。外国人担当が、校内研修や職員会議などで、学校職員に発信していくとよいです。
- 大切なことの2つ目は、「つなぐ」ことです。外国人児童生徒を日本人児童生徒や様々な支援者とつなぎます。他にも、外国人保護者を学級担任、日本人保護者や学校とつなぎます。つなぐことで、チームで対応でき、支援が充実していきます。
- 大切なことの3つ目は、在籍学級で学ぶ力を高める指導をすることです。どんな日本語の表現、語彙を教えれば、その時間の学習に参加できるようになるのか、分かるようになるのかを考えて支援していきます。つまり、日本語と教科の統合学習「JSLカリキュラム」を進めていくことが大切です。

#### 4 講話

##### 「外国人児童生徒の支援について」

講師：浜松市教育委員会 指導主事 古橋 水無 氏



- 日本生まれ、日本育ち、永住希望の外国人児童生徒が増えているのに、日本語指導が必要な児童生徒数は減っていません。生活言語はできても、学習言語ができない課題があります。
- 浜松市の日本語指導体制について、支援者の派遣、支援の流れ、「特別の教育課程」の編成・実施、作成が必要な書類（様式1～6）の書き方について、詳細に説明しました。
- 初期適応動画が、タブレットでグーグルアカウントにログインすれば見ることができます。「ポータルサイト『みんなの学び』」、「必要な情報を探そう」、「外国人児童生徒のための初期適応動画」に入っています。
- 初期日本語指導拠点校「江南教室」が、江南中学校にて、4月11日より開設しました。中国、フィリピン、パキスタンから来日した4名の生徒が入級しました。「江南教室」で10週間、学びます。